

竣工記念誌

日野都市計画事業
万願寺土地区画整理事業



 日野市

目次

ご挨拶	1
日野市の概要	2
市域の変遷	2
人口・位置・面積	3
日野市の将来像	4
ともに創りあげる 住みいい・ここいい・いきいきのまち 日野	4
まちづくりの4つの基本方針と9本の柱	4
事業の目的	5
土地区画整理事業	5
日野市土地区画整理事業一覧	6
事業のあらまし	8
事業の概要	8
土地区画整理事業の流れ	8
施行前の概況	10
施行後の概況	11
事業の主な経過	12
諮問機関(土地区画整理審議会・評価員)	14
事業の内容	16
換 地	16
補 償	18
工 事	20
施行前後の状況	22
完成した道路・公園	24
事業の詳細	26
資金計画	26
土地の種目別施行前後対照表	27
万願寺地区の歴史	28
甲州街道～日野宿と万願寺～	28
新選組フェスタin日野(万願寺メイン会場)	30
むすび	31

ご挨拶



日野市長 馬場 弘融

昭和56年1月に東京都の事業認可を受け、進めてまいりました万願寺土地区画整理事業が23年余りの歳月と幾多の問題を克服し、ここに完成の運びとなりましたことは、誠に意義深く喜びにたえません。

本事業の推進にあたりましては、関係権利者皆様の深いご理解をはじめ、市議会、土地区画整理審議会並びに評価員等関係各位のご指導とご援助を頂きましたことに、心から厚く御礼申し上げます。

新選組ゆかりの地でもあるこの地域は、市の北東部にあたり、事業開始以前は水田や梨園等の農地が多くを占め、一方で宅地開発が点在し始めておりました。道路は、都道のほかは狭隘道路で排水施設等も未整備であったため、都市基盤整備が望まれておりました。

この事業の完成により、国道20号日野バイパスを始めとして都市計画道路の整備により広域的な道路体系が確立され、多摩都市モノレールの開通や公共施設の整備により、快適で安全な住環境が生み出されました。

これからも、市民皆様の手により、郷土の歴史と共存する明るく活気あるまちが築かれることを期待いたしますとともに、更なる発展を祈念しております。

この事業につきまして、ご支援を賜りました国土交通省、東京都並びに(財)東京都新都市建設公社に対しまして、深甚なる謝意を表し挨拶いたします。

日野市の概要

日野市の概要

日野市は、都心から西方へ約35 km、東京都のほぼ中央に位置しています。市域は27.53 km²で、多摩地区26市のなかで6番目の広さで人口も6番目です。市の北部には多摩川が、中央部には浅川が流れており、清流と湧水を含んだ台地と緑豊かな丘陵地です。

日野市は昔から交通の要衝で、甲州街道・川崎街道の二つの街道とJR中央線・京王線の二つの鉄道が走り、加えて多摩都市モノレールも開通しました。

かつては農業中心の宿場町として栄え、昭和の初めからは大企業の誘致により工業都市の顔も加わります。戦後は多摩平など大規模団地の進出、そして建替えが進められるなど、首都圏の住宅都市として今日に至っています。

自然を生かした環境にやさしいまちづくり（環境管理の国際規格である「ISO14001」〔環境ISO〕の認証を平成12年12月に取得）、経営感覚をもった効率的なまちづくりを進めています。

市域の変遷

明治元年 日野宿をはじめ、現在の日野市域の村々が神奈川県に管轄となる

明治22年 日野市域に、日野宿、桑田村、七生村誕生

明治26年 日野宿から日野町へ改称（神奈川県から東京府へ移管）

明治34年 日野町と桑田村が合併し、日野町となる

昭和33年 日野町と七生村が合併し、日野町となる

昭和38年 日野市誕生

【位置図】



人口・位置・面積

人 口 男性／87,075人 女性／83,198人 合計170,273人
(2004年1月1日現在)

日野市の

境 界 東経139度21分40秒（西端）～東経139度26分40秒（東端）

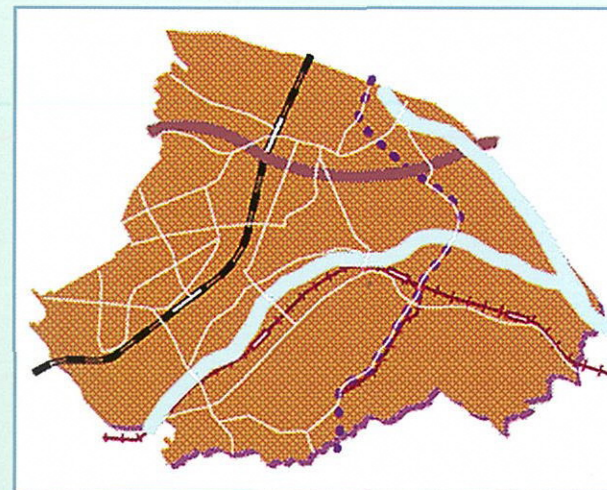
北緯 35度38分20秒（南端）～北緯 35度41分30秒（北端）

広 が り 東西7.59キロメートル 南北5.85キロメートル

周 囲 25.5キロメートル

面 積 27.53平方キロメートル

【よくみると犬の顔】



日野市は東京都のほぼ中央に位置しています。

新宿から日野市までは、JR中央線の特別快速で29分、京王線の高幡不動駅まで特急で30分です。

日野市の外郭（市境）をよくみてください。犬の横顔にそっくりです。

日野市の将来像

「ともに創りあげる 住みいい・ここちいい・いきいきのまち 日野」

日野市は、市の将来像を市民の皆様と共有し、協働によるまちづくりを進める指針となるよう、「豊かさと 誇れる日野を 次世代に ～永遠に続くまちづくりのバトンリレー～」をスローガンに「日野市まちづくりマスタープラン」を平成15年10月に策定しました。

この策定にあたっては、「市民まちづくり会議」、「地域まちづくり広場」、「わつつ」（まちづくり情報交換・意見交換の場）、などの多様な市民参画の場により、約4年間、述べ約1,700人もの日野人の知恵を積上げて、2020年を目標とするまちの将来像をつくりあげました。

まちづくりの4つの基本方針と9本の柱

○4つの基本方針

- ・日野の記憶と文化を伝えるまち
- ・日野の暮らしの舞台を支えるまち
- ・日野の仕事を育むまち
- ・まちづくりを支える仕組み

○9本の柱

1. 水音と土の香りがするまちをつくる
2. 日野人・日野文化を育むまちをつくる
3. 市民一人ひとりの心と体の健康を育むまちをつくる
4. 心地よく、住み続けられる住まいづくりを進める
5. たくさんの人・モノ・情報が交差するまちをつくりあげる
6. 一人ひとりが個性を輝かせ、それを認めあい、地域で支え合う環境をつくりあげる
7. ライフスタイルに合わせて、楽しく買い物をしよう
8. 日野のまちづくりと共に歩んできた産業とこれからも共に歩んでいこう
9. とれたての作物を食べよう

事業の目的

土地区画整理事業

日野市では、土地区画整理事業を基本としてまちづくりを進めています。その面積は、完了地区、施行中地区、計画中地区で市街化区域の約50%になります。

土地区画整理事業では道路・公園・水路等の整備を行うとともに、地域の特性である自然等、現在の生活環境の良い所を出来るだけ残したすみよいまちづくりを行います。これらを実現していくため、主に次のテーマに沿って事業を計画していきます。

- ① 駅前にふさわしいまちづくり
交通混雑のない便利で活気のある商業地の発展を図ります。
- ② 農のあるまちづくり
まちづくりの中で農業が営みやすい環境づくりを行います。
- ③ 水辺を生かしたまちづくり
水と親しめるまちづくりを行います。
- ④ 多摩都市モノレールと調和したまちづくり
多摩都市モノレールと、まちづくりを総合的に考えていきます。

地区完了写真



高幡地区（市施行）
H15年1月竣工

地区完了写真

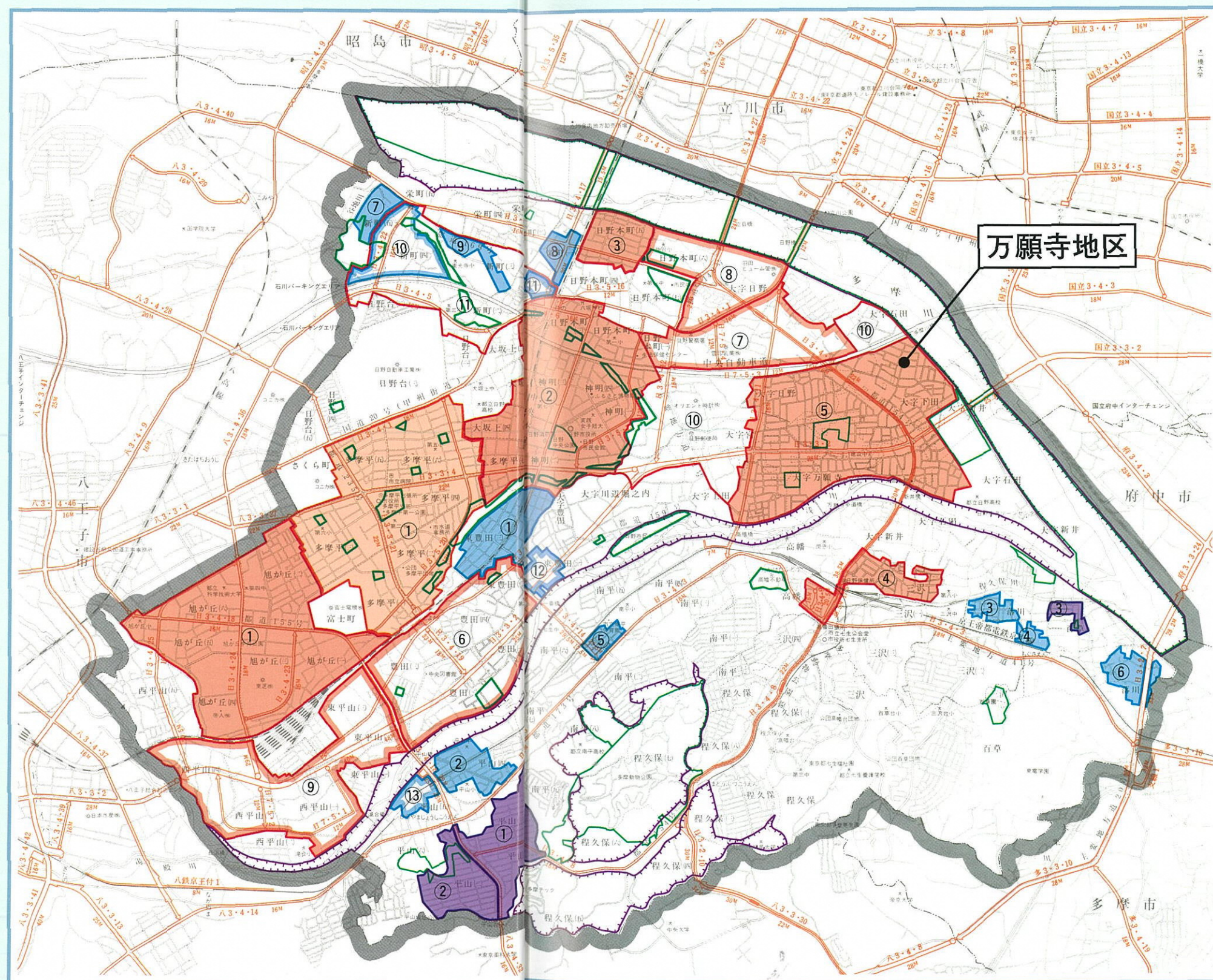


四ツ谷前地区（組合施行）
H15年7月竣工

日野市土地区画整理事業一覧

番号	地区名	施工面積 (ha)
日野市施行		
①	平山台	128.2
②	神明上	133.2
③	四ッ谷	15.0
④	高幡	16.8
⑤	万願寺	127.2
⑥	豊田南	87.1
⑦	万願寺第二	46.4
⑧	東平町	34.5
⑨	西平山	91.4
⑩	万願寺第三	82.9
⑪	新坂下	49.0 (77.0)
都市基盤整備公団施行		
①	豊田	132.9
組合施行		
①	吹上団地	27.6
②	平山下耕地	12.6
③	金田	4.4
④	百草園駅北	2.2
⑤	南平	4.0
⑥	落川	5.0
⑦	東光寺上第2	6.0
⑧	四ッ谷前	6.2
⑨	新町	5.3
⑩	東光寺上第1	18.8
⑪	日野駅北	3.9
⑫	東豊田	7.2
⑬	平山	4.7
個人施行		
①	平山七生台(1)	29.6
②	平山七生台(2)	21.9
③	下河内	3.0

凡 例	
	市街化地区・市街化調整区域
	都市計画道路
	多摩都市モノレール
	公園・緑地
	鉄 道
	市施行(計画中)
	市施行(施行中)
	市施行(施行済)
	都市基盤整備公団(施行済)
	組合施行(施行中)
	組合施行(施行済)
	個人施行(施行済)



事業のあらまし

事業の概要

本地区は、市の東北部にあたり、地区の北側は中央自動車道、東側は多摩川、南側は浅川に囲まれ、両河川の合流点に近く低地になっている面積127.2ヘクタールの地区です。

事業を開始する以前の地区内は、比較的農地が多く、特に水田、梨園が広がっていました。住宅地については、市営住宅、住宅団地、分譲住宅がかたまって点在する他は在来農家で、ほとんどが低層住宅の形態でした。道路は、バス路線である都道の川崎街道のほかは幅員が4m未満の道路であり、排水施設も未整備であったため、道路・水路等の公共施設の整備が急がれる状況でした。

そこで、昭和40年6月に土地区画整理事業の施行区域の都市計画決定を行なった後、昭和41年5月に近郊整備地帯の指定を受け、昭和56年1月には事業計画決定を行い、日野市が施行する土地区画整理事業として事業を開始しました。

事業の名称	日野都市計画事業万願寺土地区画整理事業		
施 行 者	日野市		
施 行 面 積	1,272,175.21㎡		
事業施行期間	昭和56年1月17日から平成22年3月31日 (但し、平成17年度以降は清算事務期間)		
換 地 処 分 日	平成16年8月6日		
権 利 者 数	2,470人		
筆 数	整理前4,562	整理後3,590	
平均減歩率	24.59%		
建物移転棟数	1,125棟		
道 路 延 長	幹線道路		3,266m
	区画道路 (特殊道路含む)		32,836m
公 園	14か所		49,316.92㎡
総 事 業 費	339億9,436万円		

土地区画整理事業の流れ



施行前の概況

施行前航空写真



施行後の概況

施行後航空写真

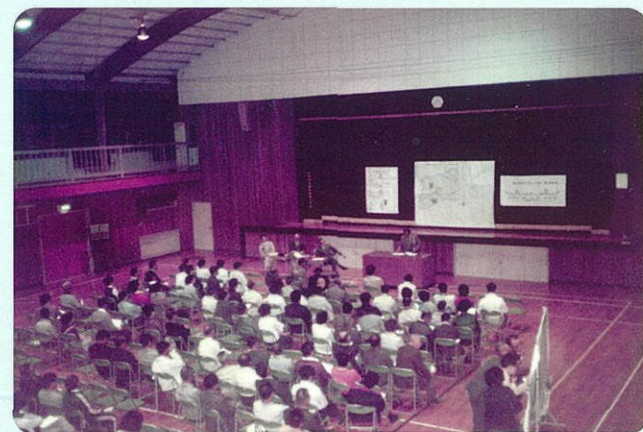


事業の主な経過

昭和40年6月から平成16年11月まで

昭和40 6 7	昭和41 5 30	昭和48 11 20	昭和54 1 24	昭和55 10 21	昭和55 11 4	昭和56 1 8	昭和56 1 17	昭和56 1 17	昭和56 2 20	昭和56 6 8	昭和56 7 7	昭和56 11 1	昭和57 7 15	昭和57 7 16	昭和58 10 15	昭和58 10 17	昭和58 10 17	昭和59 4 16	昭和59 8 6	昭和59 8 10
					昭和55 11 17											昭和58 10 31	昭和59 4 25	昭和59 8 10		

仮換地の供覧(第三次)
 仮換地の供覧(第二次)
 仮換地の供覧(第一次)
 事業計画変更公告(第1回)
 土地評価基準の決定
 換地基準の決定
 評価員の選任
 審議会委員(学識経験者)の選出
 審議会委員選挙
 法務局(登記所)へ施行の届出
 従前の土地地積決定の基準日
 事業計画の決定公告
 事業計画の認可
 事業計画の縦覧
 施行規程の制定
 用途地域の指定告示
 市街化区域の決定告示
 近郊整備地帯の指定
 施行区域の都市計画決定



説明会 (S54.5.9)



縦覧 (第1回事業計画変更)

昭和60 3 12	昭和60 10 22	昭和61 7 24	昭和61 12 8	昭和62 3 16	平成元年 3 30	平成3 7 30	平成4 3 13	平成8 3 5	平成8 7 26	平成9 5 9	平成11 11 18	平成13 8 14	平成14 2 8	平成15 10 22	平成15 12 1	平成15 12 14	平成16 3 31	平成16 8 6	平成16 11 9

竣工記念式典
 換地処分公告
 換地処分の通知
 換地計画の認可
 換地計画の縦覧
 事業計画変更公告(第10回)
 事業計画変更公告(第9回)
 審議会委員選出(第5回)
 事業計画変更公告(第8回)
 事業計画変更公告(第7回)
 審議会委員選出(第4回)
 事業計画変更公告(第6回)
 事業計画変更公告(第5回)
 審議会委員選出(第3回)
 事業計画変更公告(第4回)
 保留地処分(第1回処分)
 事業計画変更公告(第3回)
 審議会委員選出(第2回)
 事業計画変更公告(第2回)
 仮換地指定(第1回)



仮換地の供覧 (第1次)



換地計画の縦覧

諮問機関(土地区画整理審議会・評価員)

権利者のみなさまの意見を反映し、事業を民主的に進めるために、土地区画整理審議会を設けました。

審議会は権利者の中から選挙によって選ばれた12名と市長が選任した学識経験者3名の計15名の委員により構成されています。

また、土地の評価などを公正に行なうために審議会の同意を得て、学識経験者からなる評価員の方々を選任し、土地評価に関する多くの答申をいただきました。

土地区画整理審議会委員ならびに評価員の方々のご尽力により、本事業は平成16年8月6日に換地処分となり事業を完了することができました。

○ 万願寺土地区画整理審議会委員

氏 名	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期
	S56.6.8～S61.6.7 ※S56.7.7～S61.7.6	S61.6.9～H3.6.8 ※S61.7.18～H3.7.17	H3.6.9～H8.6.8 ※H3.7.18～H8.7.17	H8.6.9～H13.6.8 ※H8.7.18～H13.7.17	H13.6.9～H18.6.8 ※H13.7.18～H18.7.17
土方 彌三					会 長
齊藤 大資			会 長		
土方 文二					
渡邊 洸					
田中 孝典				会 長	
小林 茂	会 長				
小林 進一				※	
永原 三郎太	※	会 長※	※	※	
土方 雅承					
滝瀬 勇					
金子 新太郎			※	※	
土方 和幸					
杉本 好次郎	※	※			
齊藤 章					
佐伯 義則					
森久保 三次		※	※		
山口 喜久雄					
成田 豊					
平 芳造					
林 洋	※				
篠崎 昭男					
青嶋 順吉					
峰岸 大造					
荒井 義裕					
山隅 恭夫					※
中村 代志子					※
土方 智					
田中 敏男					
橋本 榮萬					※

※は学識経験者です

審議会



審議会



○ 万願寺土地区画整理評価員

氏 名	在 職 期 間		
朝倉 巖	S56.11.1		H16.8.6
溝上 繁	S56.11.1		H16.8.6
村松 武	S56.11.1		H16.8.6
西沢 保	S56.11.1	H7.11.19	
松村 清栄	S56.11.1	H2.1.25	
中村 亮助		H2.1.26	H16.8.6

事業の内容

換地

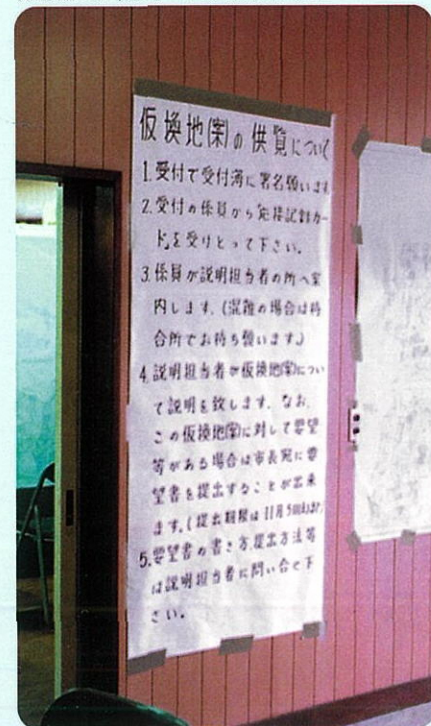
土地区画整理事業で最も重要な作業のひとつは、土地の組替えを行なう換地設計です。本地区においても、公正かつ適正な換地を行なうために「換地基準」や「土地評価基準」を定めました。

この基準をもとに換地設計を定め、土地区画整理審議会の意見を聴いて仮換地案を作成し、昭和58年10月の第1次から、昭和59年8月の第3次までの計3回、延べ30日間に亘り、関係権利者の皆さんへ個別説明会を行ないました。

その後、昭和60年3月12日に初めての仮換地指定を行ない、建物等の移転と道路等の築造を順次行なって、仮換地先での土地利用を開始していただきました。

そして長い歳月を経て、公園等の公共施設も整備され、事業完了に向け換地計画の縦覧を行ない、東京都知事の認可を受け、平成16年8月6日に東京都知事より換地処分の公告が行なわれ、事業が完了いたしました。

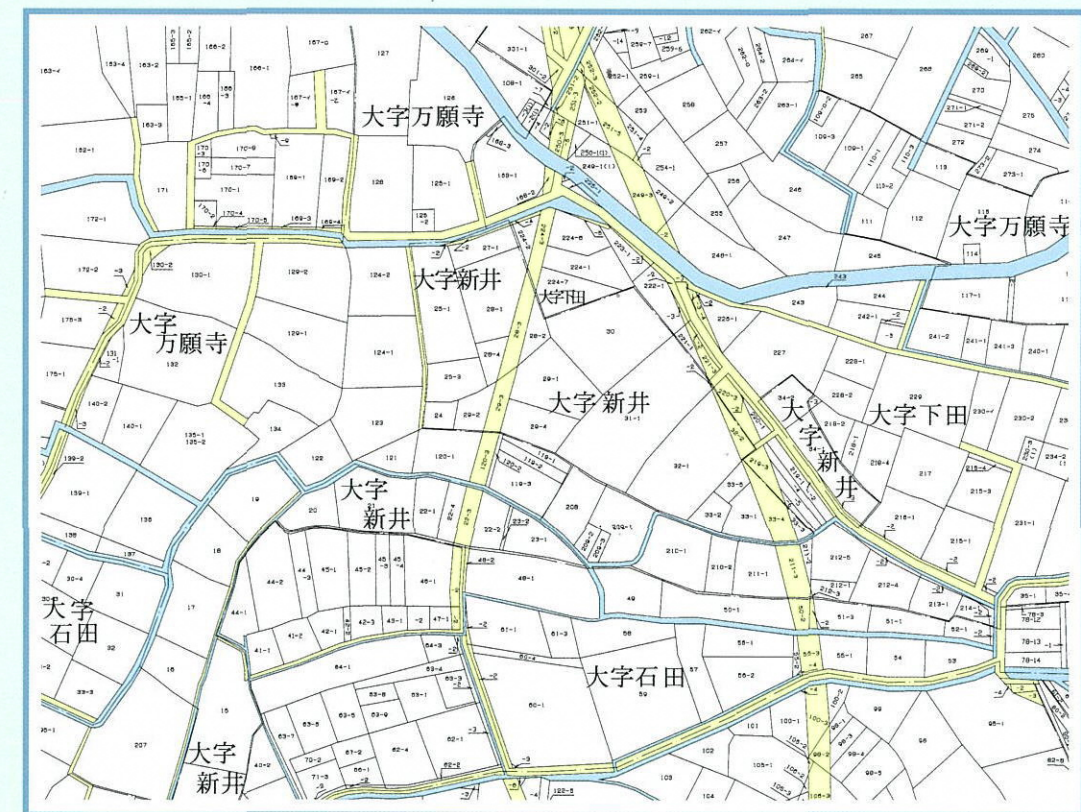
仮換地(案)の供覧写真



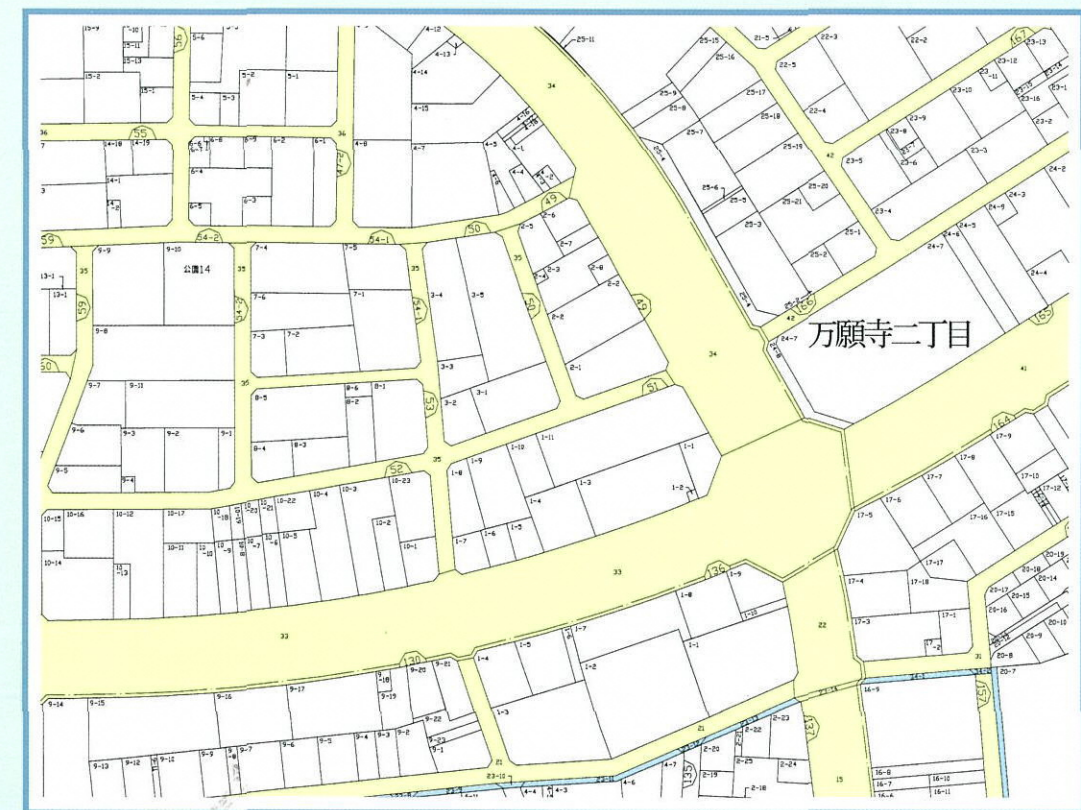
換地計画縦覧写真



○ 施行前の土地図



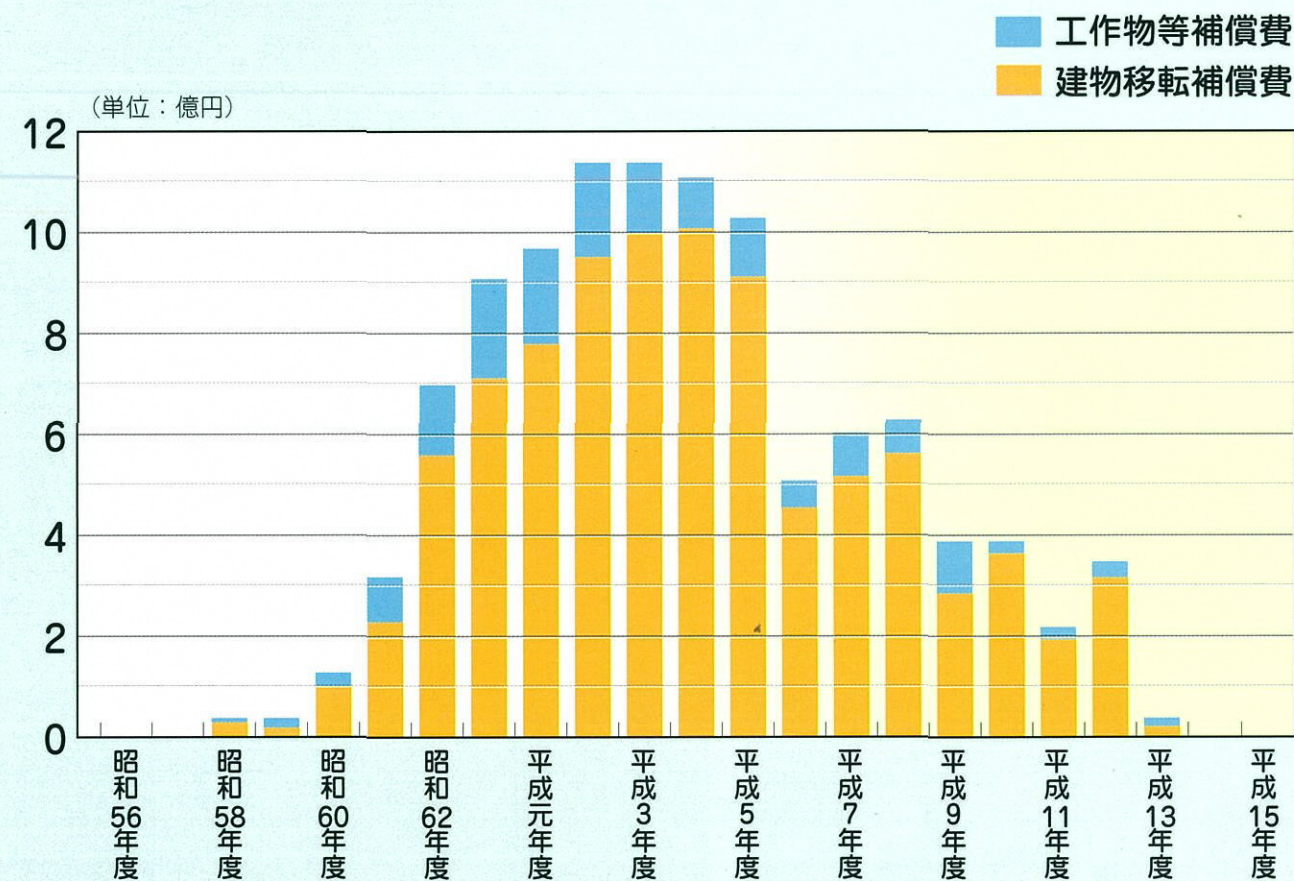
○ 施行後の土地図



補償

建物の移転は、仮換地の指定に伴う場合、または道路、公園等の公共施設の築造工事に伴う場合に必要となります。移転に際しては、まず移転計画を作成し、この計画によって建物、工作物、樹木等の調査を行い、「損失補償基準」に基づいて補償金を算出し、権利者のみなさまと話し合いを重ねて、双方合意のうえで移転が行なわれました。本地区で移転していただいた建物棟数は1,125棟になりました。

【建物・工作物等補償費】



曳家工法



枕木とレールを使い移動させます。



赤く囲った所が、建物があったところです。



工 事

道路の工事は、都市計画道路3・4・8号線、都市計画道路3・4・11号線および都市計画道路3・3・2号線(排水工事のみ)の幹線道路3路線をはじめとして、幅員4m～12mの区画道路と幅員1m～6mの特殊道路を整備しました。万願寺駅を含むモノレール路線の歩道は、歩行者がゆとりを持って歩けるように、幅員を3.5mとし、キャブシステム^(注1)による電線地中化を実施しました。また、地区内から京王線高幡不動駅への近接を図るために歩行者専用橋(ふれあい橋)を設置し、その歩行者専用橋から近隣公園までの歩道には草花を楽しめるよう散策路を配置しました。

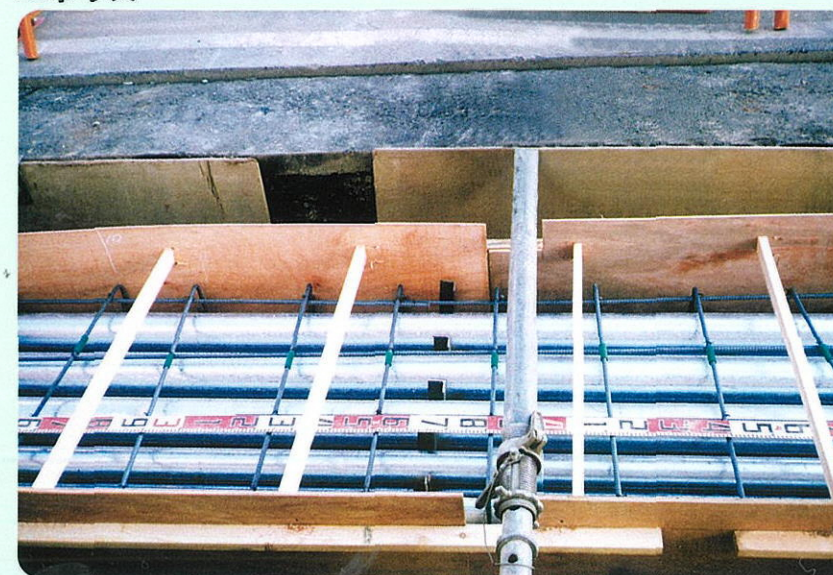
公園は野球場、交流センターを設置した近隣公園を1箇所、街区公園として13箇所を整備しました。公園整備では近接の寺社と一体となるよう配慮し、優良な樹木の保全につとめました。また、市民が水辺に親しめるよう親水性のある公園・水路を整備するとともに、水路に沿って公園に連絡するよう「清流と緑の散策路」となる緑道を配置しました。

公共施設別調書掲載

区 分	名 称	形 状 寸 法			整 備 計 画
		幅員 m	延長 m	面積 m ²	
幹線道路	3・3・2東京八王子線	28	1,306	38,359.57	「4.0-20.0-4.0」築造工事は国が別途行う。但し排水工事は本事業で行う。
	3・4・11甲州街道高幡線	16	954	15,343.47	「3.0-10.0-3.0」アスファルト・コンクリート舗装、厚10cm、路盤厚40cm、街渠及び管渠を設ける。街路照明、植栽を設ける。
	3・4・8米町平山環状線	22～23	1,006	23,823.01	「3.5-5.5-4.0-5.5-3.5」アスファルト・コンクリート舗装、厚15cm、路盤厚40cm、街渠及び管渠を設ける。キャブシステム、街路照明、植栽等を設ける。
	小 計		3,266	77,526.05	
道 区 画 道 路	幅員12m		527	6,506.18	「6.0-6.0」6mの散策路と6mの車道、車道はアスファルト・コンクリート舗装、厚5cm、路盤厚30cm、街渠及び管渠を設ける。散策路は草花に親しめるよう配慮し、併せて植栽を設ける。
	幅員10m		648	6,734.27	「2.0-6.0-2.0」及び「4.0-6.0」アスファルト・コンクリート舗装、厚5cm、路盤厚30cm、街渠及び管渠を設ける。
	幅員9m		1,209	11,082.07	「1.5-6.0-1.5」アスファルト・コンクリート舗装、厚5cm、路盤厚30cm、街渠及び管渠を設ける。
	幅員8m		1,015	8,629.37	「1.5-5.0-1.5」及び「8.0の単断面」アスファルト・コンクリート舗装、厚5cm、路盤厚30cm、街渠及び管渠を設ける。但し単断面区間は特殊L形溝とする。
	幅員6m		25,757	155,931.48	アスファルト・コンクリート舗装、厚5cm、路盤厚30cm、U字溝(蓋掛け)特殊L形溝およびL形溝を設ける。
	幅員5.5m		272	1,042.24	〃
	幅員5m		153	776.83	〃
	幅員4.5m		287	1,307.88	〃
	幅員4m		2,631	10,134.94	〃
	小 計		32,499	202,145.26	

区 分	名 称	形 状 寸 法			整 備 計 画
		幅員 m	延長 m	面積 m ²	
特 殊 道 路	幅員4m		68	275.5	アスファルト・コンクリート舗装、厚5cm、路盤厚30cm、U字溝(蓋掛け)特殊L形溝及びL形溝を設ける。
	幅員2m		195	391.87	歩道舗装に準ずる
	幅員1.3m		50	43.57	〃
	幅員1m		24	20.52	〃
	幅員1～6m			118.65	サイクリングロードとして整備済
	小 計		337	850.11	
計			36,102	280,521.42	
公 園	万願寺1号公園(万願寺中央公園)			30,580.54	近隣公園として休養、修景施設及び遊戯施設、野球場、地区住民の為の地域交流センターを設ける。
	万願寺2号公園(大木島自然公園)			8,059.04	街区公園として遊戯施設を設けて植栽を行う。
	万願寺3号公園(川原附公園)			1,331.53	〃
	万願寺4号公園(蘭沼公園)			1,251.00	〃
	万願寺5号公園(根川公園)			708.16	〃
	万願寺6号公園(源平島東公園)			1,249.77	〃
	万願寺7号公園(下田つつじ公園)			1,117.90	〃
	万願寺8号公園(新井公園)			1,199.22	〃
	万願寺9号公園(石明公園)			909.4	〃
	万願寺10号公園(水車公園)			277.39	既に開設しているプレイロットで整備は行わない。
	万願寺11号公園(下田住宅公園)			223.65	街区公園として遊戯施設を設けて植栽を行う。
	万願寺12号公園(日野万大六天公園)			439.96	〃
	万願寺13号公園(源平島西公園)			1,208.70	〃
	万願寺14号公園(家生田公園)			760.66	〃
計				49,316.92	
河 川	根川	6～12.36	1,066	10,002.44	本事業での築造は行わない。
	浅川堤防敷			2,976.50	
	計		1,066	12,978.94	
水 路	幅員4.5m		284	1,275.82	門型函渠構造とする。
	幅員4m		861	3,430.17	門型函渠構造と玉石積及び植栽。
	幅員3m		1333	3,972.92	門型函渠構造とする。
	幅員2m		1716	3,421.87	門型函渠構造と玉石積及び植栽。
	幅員1.5m		25	38.55	門型函渠構造とする。
計			4219	12,139.33	
合 計				354,956.61	

工事写真



(注1)
←キャブシステム
キャブシステムとは、ケーブルボックスシステム(cable box)の略で、電線類地中化の方式のことです。
電柱を撤去して、電線類を地中化することで、歩行者にゆとりを提供し、環境と美観に配慮しました。

施行前後の状況

整理前

区画道路



区画道路



整理中



整理後



万願寺中央公園（野球場）



源平島東公園



工事中（芝張り）



工事中（遊具設置）



完成した道路・公園



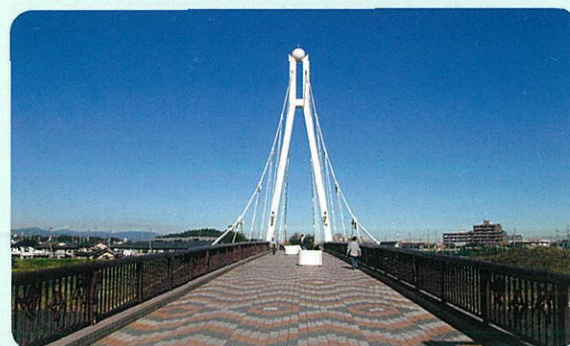
都市計画道路3・4・11号線



大木島自然公園



川原附公園



ふれあい橋



散策路(12m道路)



水路



都市計画道路3・4・8号線



モノレール万願寺駅



交流センター(万願寺中央公園)



都市計画道路3・3・2号線

事業の詳細

資金計画

本事業の財源は、主に国庫補助金、東京都補助金、日野市負担金および保留地処分金より構成されています。その他に、企業者負担金と公共施設管理者負担金があります。

収入

区 分	金 額 (千円)	摘 要
国 庫 補 助 金	3,408,575	用買対象路線 3・4・11号線、3・4・8号線
東 京 都 補 助 金	5,581,149	国裏 3,039,725、 3・4・11号線、3・4・8号線 都費 2,541,424、 3・4・11号線、3・4・8号線
市 負 担 金	1,848,085	
保 留 地 処 分 金	18,989,821	
そ の 他	172,330	日野高校グラント負担金、キャブ負担金
公共施設管理者負担金	3,994,400	3・3・2号線道路事業
合 計	33,994,360	

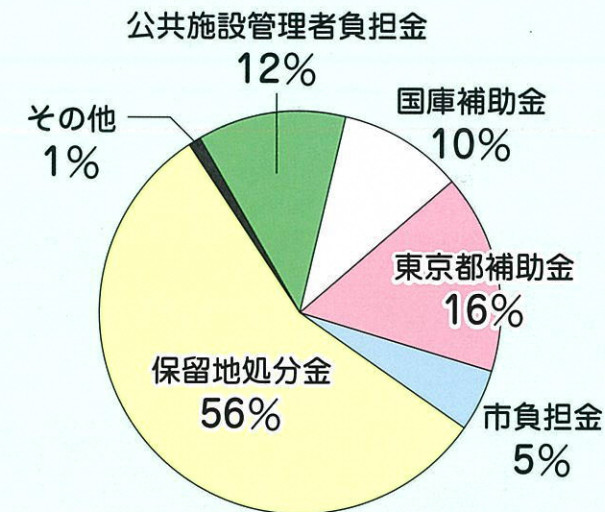
※事業計画書(第10回変更)より

支出

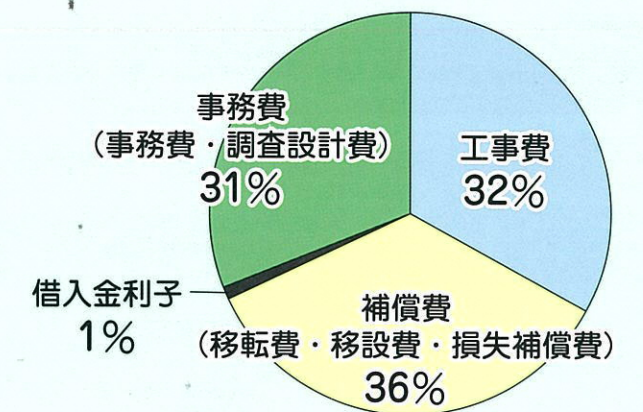
事 項			単 位	事業量	事業費(千円)	支 出
公共施設整備費	築造	道路 幹線道路	m	3,266	1,710,088	都市計画道路、排水管
		築造費 区画道路	m	32,836	3,282,291	排水管、橋梁築造費を含む
		水路 築造費	m	4,219	809,431	
		公園 築造費	m ²	49,316	576,555	
		計			6,378,365	
	移転	建物 移転費	棟	1,125	9,088,840	建物付属工作物等を含む
		臺地 移転費	基	8	16,577	
		立木農作物工作物			1,451,149	
		計			10,556,566	
	移設	電柱 移設費	本	244	48,531	電話柱を含む
		ガス 移設費	m	1,532	158,057	
		上水道 移設費	m	8,598	542,225	
計				748,813		
法第2条2項 該当事業費		上水道	m	62,806	467,612	分担金
		ガス			212,100	
		計			679,712	
整地費			m ²	558,444	1,185,322	保留地、換地並びに旧道等の整地工事
付帯工事費					800,000	歩行者専用橋
工事雑費					2,060,264	仮設工事、維持補修費含む
調査設計費					9,260,826	測量工事、換地設計、その他調査費を含む
工事費計					31,669,868	
損失補償費					847,940	調査、測量、その他換地指定に伴う補償費
					847,940	
借入金利子					277,087	
					277,087	
事務費					1,199,465	
					1,199,465	
合計					33,994,360	

※事業計画書(第10回変更)より

収入 33,994,360千円



支出 33,994,360千円



土地の種目別施行前後対照表

種 目			施 行 前			施 行 後	
			地 積 m ²	割 合 %	筆 数	地 積 m ²	割 合
公 共 用 地	国 有 地	道 路	2,114.22	0.16	11	42,289.87	3.32
		河 川	8,054.33	0.63	0	11,556.27	0.91
		水 路	1,816.08	0.14	0	0.00	0
		堤 防	3,011.88	0.24	20	0.00	0
		法 敷	2,367.28	0.19	0	0.00	0
	計	17,363.79	1.36	31	53,846.14	4.23	
	地 方 公 共 団 体 所 有 地	道 路	66,625.75	5.24	427	238,231.55	18.73
		公 園	0.00	0.00	0	49,316.92	3.88
		河 川	2,032.83	0.16	42	1,422.67	0.11
		水 路	53,332.42	4.19	10	12,139.33	0.95
		計	121,991.00	9.59	479	301,110.47	23.67
	合 計	139,354.79	10.95	510	354,956.61	27.90	
宅 地	民 有 地	田	506,453.50	39.81	1,808	854,233.40	67.15
		畑	171,037.72	13.44	655		
		宅 地	239,638.34	18.84	1,061		
		池 沼	2,025.00	0.16	9		
		山 林	7,461.77	0.59	41		
		牧 場	1,169.27	0.09	2		
		原 野	5,800.83	0.46	43		
		墓 地	4,725.00	0.37	7		
		境 内 地	7,918.68	0.62	10		
		公衆用道路	8,332.25	0.65	82		
		公 園	485.00	0.04	2		
		遊 園 地	915.00	0.07	1		
		雑 種 地	29,517.37	2.32	165		
		廃 道 敷	306.60	0.03	10		
		計	985,786.33	77.49	3,896		
	国 有 地	普 通 財 産	14,259.75	1.12	22	854,233.40	67.15
		計	14,259.75	1.12	22		
	地 方 公 共 団 体 所 有 地	都 有 地	25,389.86	2.00	49		
		市営住宅敷地	18,986.19	1.49	43		
		市 有 地	0.00	0.00	0		
		計	44,376.05	3.49	92		
	合 計	1,044,422.13	82.10	4,010	854,233.40		
保 留 地					62,985.20		
測 量 増		88,398.29	6.95				
総 計		1,272,175.21	100.00	4,520	1,272,175.21	100.00	

※事業計画書(第10回変更)より

減歩率

整理前 宅地地積 (登記地積) (m ²)	同更正地積 (測量増減を 加減したもの) (m ²)	整理後宅地地積		差引減歩地積		減 歩 率	
		保留地を含めた 宅地地積 (m ²)	保留地を除いた 宅地地積 (m ²)	公共 減歩地積 (m ²)	公共保留地を合 算した減歩地積 (m ²)	公共 減歩率 (%)	公共保留地 合算減歩率 (%)
1,044,422.13	1,132,820.42	917,218.60	854,233.40	215,601.82	278,587.02	19.03	24.59

※事業計画書(第10回変更)より

万願寺地区の歴史

甲州街道～日野宿と万願寺～

江戸時代、日野宿は五街道の一つ甲州道中の宿場に指定され、人や荷物を隣の宿場に継ぎ送る伝馬役や、多摩川に設けられた日野渡船場の経営など、大きな役割を担っていました。

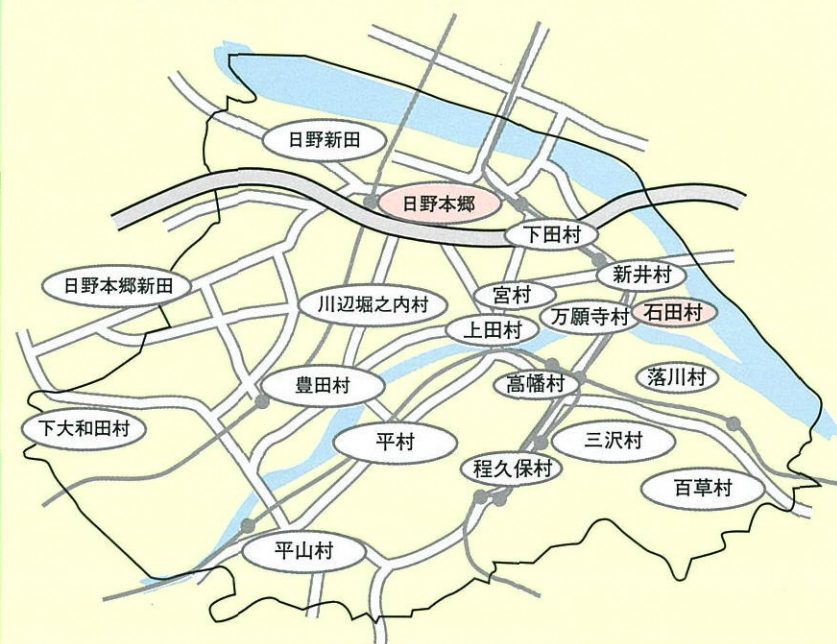


↑ 明治30年代の日野宿(佐藤福子家蔵)
市内を通る甲州街道(国道20号線)沿いには、宿場としての町割りを始め、本陣の建物・問屋場跡・東の地蔵など甲州道中当時の面影を数多く見いだすことができ、日野宿が現在の町並みの基になっていることがわかります。



↑ 本陣を務めた旧佐藤家(明治30年代の写真、佐藤福子家蔵)
名主だった下佐藤家。昔は道場もあり、後に新選組の局長になる近藤勇が剣道を教えていました。

江戸時代に日野にあった村



日野の渡し(「絵本江戸土産」日野市ふるさと博物館蔵、井上恒正コレクションより)

将棋で使う「王手(大手)」は日野の万願寺」という例えは、多摩川の渡船場が軍事的に大変重要であったことを物語っています。後に万願寺から日野に移った渡船場は日野宿が経営し、2艘の馬船と1艘の歩行船で運行されます。しかし、弘化3年(1846年)6月の長雨は、多くの人々を乗せた渡船が転覆するという大きな水難事故を起こしてしまいました。日野橋が掛けられたのは大正15年(1926年)のことです。



↑ 万願寺一里塚
甲州道中が万願寺の渡しを通った江戸初期の道筋にあります。日本橋から9里目に街道をはさんで2基ありましたが、昭和43年に1基は取り崩されました。



↑ 石田寺(せきでんじ)
土方歳三のお墓があるお寺。宗派は新義真言宗、愛宕山地蔵院と称しています。石田寺には樹齢400年以上とされるカヤの大木があります。

日野(万願寺地区)の略年表

年代	西暦	記 事
縄文 早期～中期		日野台地などに人々が定住しはじめる
奈良 大宝3 和銅7	703 712	引田朝臣祖父が武蔵国守に任命される 武蔵国から絹を調として納め始める
平安 平治元	1159	平山季重が源頼朝に属し、平治の乱の合戦に従軍する
戦国 永禄10 元龜元	1567 1570	日野の佐藤隼人、日野用水を開削 日野宿で後北条氏による屋敷検地が行われる
江戸 慶長10 貞享元	1605 1684	甲州道中が整備され日野を宿場に定める 日野宿助郷42ヵ村定まる 甲州道中の道筋が変更され、多摩川の渡船場が万願寺から日野に移り、日野宿の経営となる
貞享2 享保8 文政12 弘化3 文久3	1685 1723 1829 1846 1863	多摩川の船が御菜船として上納される 高倉原の新田開発が行なわれる 日野宿を寄場として組合村(日野宿組合)が組織される 日野の渡しで渡船が転覆、30人余が流死 日野宿組合農民隊が結成される 土方歳三ら將軍警護のため「浪士組」に参加し、上洛ののち「新選組」となる
元治元	1864	新選組「池田屋事件」で名をあげる
明治 明治元 明治2 明治11	1868 1869 1878	日野宿をはじめ、現在の日野市域の村々は神奈川県の管轄となる 土方歳三、箱館で戦死する 郡区町村編制法の施行により、日野市域は南多摩郡となる、初代郡長に日野宿の佐藤俊正が任命される
明治22	1889	市制町村制施行により、日野市域に日野宿、桑田村、七生村の一宿二村が誕生 甲武鉄道(現JR中央線)開設、新宿～八王子間が開通する
明治23 明治26 明治34	1890 1893 1901	日野駅が開設される 三多摩が神奈川県から東京府に編入、日野宿を日野町と改称 豊田駅が開設される。日野町と桑田村が合併し、日野町となる
大正 大正3 大正5 大正7 大正12 大正14	1914 1916 1918 1923 1925	多摩川で洪水が発生し、堤防の決壊により大きな被害が出る 東京電灯株式会社により甲州街道の沿道と四ツ谷地区に電灯がつく 下田、新井、石田、宮、堀之内、豊田、河原の地区に電灯がつく 関東大震災、浅川に高橋完成。 玉南電気鉄道(現京王帝都電鉄)の府中～東八王子間開通
昭和 昭和12 昭和18 昭和20 昭和29 昭和31 昭和33 昭和34 昭和38 昭和40 昭和41	1937 1943 1945 1954 1956 1958 1959 1963 1965 1966	中央線複線化、日野新駅開設 東京府が東京都となる 4月3日の空襲により上田・宮・下河原(日野)で爆死者あり 日野町役場庁舎(旧市役所庁舎)完成 首都圏整備法制定 日野町と七生村が合併し、日野町となる 日野市域が首都圏整備法に基づく市街地開発区域の指定を受ける 市制施行、日野市が誕生。全国559番目。人口55,595人 万願寺土地区画整理事業、施行区域の都市計画決定(市施行) 日野高校開設 日野市が首都圏整備法に基づく近郊整備地帯に指定される
昭和42 昭和52 昭和56	1967 1977 1981	中央自動車道、調布～八王子間開通 市役所庁舎完成、移転 万願寺土地区画整理事業、事業計画の認可・公告を行う
平成 平成3 平成4 平成6	1991 1992 1994	万願寺歩道橋(ふれあい橋)開通 浅川スポーツ広場完成 日野市・多摩市・稲城市を管轄する日野税務署(万願寺土地区画整理事業地区内に)新設
平成10 平成12 平成13 平成15	1998 2000 2001 2003	日野税務署が新庁舎で業務開始 多摩都市モノレール開設 日野市第四次基本構想・基本計画(ひのいプラン2010)を策定 石田橋完成 仮称「万願寺交流センター」オープン 市制40周年記念事業「ふれあい日野Festa～まちづくり記念祭～」を開催 日野市まちづくりマスタープラン(都市計画マスタープラン)を策定
平成16	2004	新選組フェスタin日野を万願寺中央公園で開催 万願寺土地区画整理事業換地処分公告(市施行)

新選組フェスタin日野（万願寺メイン会場）



万願寺メイン会場入口

万願寺地区にある万願寺中央公園の一部は、平成16年1月10日から平成16年10月31日まで「新選組フェスタin日野」のメイン会場となり、多くの人で賑わいました。

会場内には大河ドラマ館やゆかり館が建ち、新選組にまつわる資料を展示の他、期間限定の催し物やお土産コーナーもありました。



←大河ドラマ館

大河ドラマ館内には、平成16年1月から放送のNHK大河ドラマ「新選組」の撮影で実際に使用された衣装を展示していました。



この他にも、新選組結成から箱館戦争まで、歳三が見た時代、仲間、戦いなどを歩きながら楽しめました。



交流センター→
「土方歳三特別展」
や「浅田次郎展」
「PEACE MAKER
鐵展」など貴重な
展示会を数多く行
いました。



←ゆかり館

京都市・会津若松市・高知市などの新選組にゆかりのある地の紹介や名産品を販売していました。



←ふれあい会場

キャラクターショーや土方歳三、近藤勇、沖田総司らが身に付けた剣術「天然理心流」、大河ドラマで殺陣武術指導をしている「全日本刀道連盟」の演武などが行われました。

お土産→

お土産や飲食を販売している売店は、新選組専門店、アイス・そばなどの軽飲食、地酒店など様々あり、その店構えは幕末の香り漂う佇まいです。



むすび



万願寺土地区画整理事業の経緯

この事業は、公共施設の整備及び住宅地・商業地・工業地の計画的な発展と市街地環境の向上を目的とし、昭和56年1月8日に事業認可を受けて着手した面積127.2ヘクタールの土地区画整理事業です。

新選組ゆかりの地でもあるこの地域の当時の様子は、大部分が水田、梨園等の農地であり、農業用水路が数多く流れ、一方で宅地開発が点在し始めていました。

この事業により、国道20号日野バイパスをはじめとする都市計画道路が整備され、広域的な道路体系が確立されました。また、多摩都市モノレールの開通で、まちの核となる万願寺駅が開業するとともに、地域と高幡不動駅を結ぶ万願寺歩道橋（ふれあい橋）が整備され、歩行者の利便性も高まりました。そして、区画道路や既存の樹木を保存した公園、万願寺交流センターなどの公共施設の整備、点在していた工場の集合化等により、快適で安全な住環境が生み出されました。

この万願寺土地区画整理事業が着手以来23年余を経て、関係権利者の理解と協力により竣功したことを記すとともに、地域の発展を祈念してこの碑を建立します。

平成16年11月吉日 施行者 日野市



日 野 市

発 行 日 平成16年11月

発 行 日野都市計画事業万願寺土地区画整理事業
施行者 日野市
東京都日野市神明1-12-1

編 集 (財)東京都新都市建設公社
東京都八王子市高倉町49-3

印 刷 日野台印刷株式会社

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています